

# 「中小企業デジタル導入加速化補助金」 デジタルツール活用事例のご紹介



高品質な 支援します

## ■「中小企業デジタル導入加速化補助金」とは

コロナ禍により経営環境が悪化する国内中小企業者等が、生産性向上や売上拡大などに向けて、デジタル技術を導入する場合の経費の一部を補助することによ

り、国内産業へのデジタル導入の促進を図り、もって国内産業の競争力の維持・拡大に資することを目的としています。

## ■ 取組事例のご紹介

社 名 有限会社八雲庵 (出雲そば 八雲庵)  
所 在 地 鳥取県松江市北堀町08  
代 表 者 代表取締役 木山 美佳  
補助事業担当者 営業 木山 太一



### ・補助事業名

POSレジおよび自動的決済の導入による顧客満足度の向上

### ・補助事業に取り組まれたきっかけ

江戸情緒がたっぷり味わえる塩見郷子。松江城を散歩したり、堀川遊覧船で景色を楽しんだり、ゆったりとした空気に包まれた八雲庵では、毎日一品に本格字打ち蕎麦そばを打って、お客様をお迎えしています。当店では、味や伝統を守り続けながら、お客様によりご満足していただけるよう日々改善を繰り返していますが、長年、「レジ会計」業務に多くの課題を抱えていました。

そうした中で、POSレジおよび自動的決済の導入に向け、現状分析やシステム導入計画、要件定義などを地元ITベンダー様にもご協力いただきながら着実に進めている、飲食店向けPOSシステムの導入が当店の課題解決、生産性向上を確実に実現できるものと判断したことから、本補助事業に取り組みました。

### ・補助事業で導入したITツール

- ・飲食店向けPOSシステム FScoreplus2S
- ・タッチターミナル WILLPOS-Touch (ウィルポス・タッチ) QT-30
- ・自動的決済 (オプション機能) 他

### ・補助事業による成果

本補助事業では、当店の課題である、自動的決済導入による業務の削減、非接触化による新年間の向上、POSシステム導入による商品分析、採利益算管理を可能にすることに取り組みました。

当店では、以下のような課題を抱えていました。

- ①現金の受渡時に金額間違いなどから遺失発生
- ②現金の受渡が「手渡し」のため、書面での記録がある (新型コロナウイルス感染防止)
- ③現在は、お会計が現金決済のみとなり、キャッシュレス決済に対応していない
- ④現在のレジスターでは、オーダーシステムとの連携がなく、紙伝票によって注文を受け付けているため、注文間違い、会計時のレジ待ちが発生している。
- ⑤店舗内が広く、紙伝票をキッチンまで運ぶことに相当な時間を要している。
- ⑥商品分析、日々の採利益算ができていない

本補助事業では、自動的決済およびPOSシステムを導入することで、上記課題①、②、③の解決に取り組みました。

### (事業実施の内容)

- ①現金の受渡時に金額間違いなどから遺失発生



POSレジを導入したことにより、レジ会計時の金額間違いが発生することが無くなりました。また、自動的決済 (硬貨・紙幣) により、スタッフの業務

負の時間を大幅に削減することができ、お客様の会計待ちのストレスも軽減することができました。

- ②現金の受渡が「手渡し」のため、書面での記録がある (新型コロナウイルス感染予防)



旧レジでは、硬貨的決済・紙幣的決済がなかったため、スタッフが硬貨・紙幣に触れる時間が長く、書面での記録もあり、コロナ後以降は頻りにアルコール消毒を行っていましたが、自動的決済の導入後は、硬貨・紙幣に触れる時間が短くなり、書面も向上しました。

- ③現在は、お会計が「現金決済」のみとなり、「キャッシュレス決済」に対応していない



POSシステムを導入したことにより、これまで対応していなかった「キャッシュレス決済」が可能となり、お客様に現金の持ち合わせがない場合も、クレジットカードがあれば支払いが可能になりました。また、キャッシュレス決済により金額間違いなどのミスも起きないことで、従業員の負担軽減にもなりました。クレジットカード決済は、現金支払いと比べてお客様の待ち時間を減らせるので、感染対策にも有効でした。

キャッシュレス決済は、その利便性もさることながら、お客様の支払いにかかる時間が短くなったため、店舗の作業時間の削減につながるなど、非常に大きな効果をもたらしました。

POSシステムの導入により、レジ業務の効率化、生産性の向上を図ることができました。事前にPOSレジ

に商品情報を登録しておくことで、会計時に行う入力作業が大幅に軽減され、スピーディーな会計作業を行うことができ、お客様のレジ待ち時間も大幅に削減されました。

また、POSレジを使うことで売店時におがむが業務作業を行う必要がないため、売上状況を一目で確認できるようになり、スタッフの業務負担も大幅に軽減することができました。

レジでの会計処理が自動化されることで、正確かつスピーディーなやり取りが可能となり、この自動化・集約化によって、不慣れな新人スタッフでもベテランスタッフと変わらないスピーディーなレジ対応できるようになり、このことは長期的視点で、人件費、教育コストの削減にも繋がるものと考えています。

また、POSシステムには担当スタッフが記録として残されるため、業務が発生した場合でも、会計作業を誰が行ったのか確認することができ、この機能があるとはならないスタッフの不正を未然に防ぎ、健全な店舗経営が可能になりました。

そして、経営者側にとっても、POSシステム上でデータ分析を行うことで、必要な商品の売上データをリアルタイムで自動的に収集できるようになり、いつ、どれくらい、誰に売れているのかまで正確に把握できるため、これまでの勘や経験頼りではない、数値に基づいた正確な売上分析も可能になりました。



### ・さいごに

初代から受け継いだ伝統・文化を守りながら、お客様により満足していただけるよう、わたしたちはこれからもオーダーシステム等のデジタル活用への挑戦を続けてまいります。

